

# 石川県公報

令和7年5月8日(木曜日)

号 外

(第 37 号)

## 目 次

人事委員会  
○令和7年度石川県職員採用候補者試験(大学卒程度)  
公告

1

○令和7年度石川県警察官A採用候補者試験公告

6

## 人 事 委 員 会

### 令和7年度石川県職員採用候補者試験(大学卒程度)公告

令和7年度石川県職員採用候補者試験(大学卒程度)を次のとおり行う。

なお、大学卒業及び令和8年3月までに大学卒業見込み(※)の者(石川県人事委員会が同等の資格があると認め  
る者を含む。)は高校・短大卒程度試験を受験できないので、大学卒程度試験を受験すること。

※「卒業見込み」とは、現在履修中又は今後履修可能な科目の単位を全て取得したと仮定した場合に令和8年3  
月までに卒業が可能であることをいい、学校による卒業見込みの認定とは関係ないものとする。

令和7年度石川県職員採用候補者試験(大学卒程度(先行枠))の申込者も、この試験に申し込むことができる。

令和7年5月8日

石 川 県 人 事 委 員 会

### 1 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分	採用予定人員	職務内容
行 政	44名程度	知事部局、教育委員会等の各課及び出先機関における一般行政事務
警 察 行 政	5名程度	警察本部の各課及び警察署における一般行政事務
心 理	若干名	知事部局(主として健康福祉部)等の各課及び出先機関における専門業務
精神保健福祉士	3名程度	
福 祉	11名程度	知事部局(主として農林水産部)等の各課及び出先機関における専門業務
農学(農業・畜産)	9名程度	
林 学	9名程度	知事部局(主として農林水産部及び生活環境部)等の各課及び出先機関における専門業務
水 産	3名程度	知事部局(主として農林水産部)等の各課及び出先機関における専門業務
総 合 土 木 I	11名程度	知事部局(主として土木部及び農林水産部)等の各課及び出先機関における専門業務
総 合 土 木 II	10名程度	
建 築	4名程度	知事部局(主として土木部)等の各課及び出先機関における専門業務
造 園	7名程度	
機 械	5名程度	知事部局等の各課及び出先機関における専門業務
電 気	若干名	
総 合 化 学	6名程度	知事部局(主として健康福祉部)等の各課及び出先機関における専門業務
保 健 師	6名程度	

### 2 受験資格

(1) 年齢等

次のア、イのいずれかに該当する者

ア 平成8年4月2日から平成16年4月1日(総合土木Ⅰ・Ⅱ及び保健師については平成8年4月2日から平成17年4月1日)までに生まれた者

イ 平成16年4月2日以降生まれで、次の(ア)、(イ)のいずれかに該当する者

(ア) 大学卒業の者又は令和8年3月までに大学卒業見込みの者

(イ) 石川県人事委員会が(ア)と同等の資格があると認める者

## (2) 免許・資格

下記の試験区分については、右欄に示す免許・資格が必要である。

心 理	学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づく大学(短期大学を除く。)若しくは大学院において、心理学を専修する学科(これに相当する課程を含む。)若しくは専攻を卒業若しくは修了した者又は令和8年3月までに卒業若しくは修了見込みの者
精神保健福祉士	精神保健福祉士の資格を現に有する者又は令和8年春季までに実施される資格取得の国家試験に合格し、資格を取得する見込みの者
福 祉	社会福祉士の資格を現に有する者若しくは令和8年春季までに実施される資格取得の国家試験に合格し、資格を取得する見込みの者又は学校教育法に基づく大学(短期大学を除く。)において、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科(これに相当する課程を含む。)を卒業した者若しくは令和8年3月までに卒業見込みの者
保 健 師	保健師の免許を現に有する者又は令和8年春季までに実施される免許取得の国家試験に合格し、免許を取得する見込みの者

## (3) 次のいずれかに該当する者は受験できない。

ア 日本の国籍を有しない者(精神保健福祉士、福祉、保健師は除く。)

イ 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条に規定する次の欠格条項に該当する者

(ア) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

(イ) 石川県職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者

(ウ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

## 3 試験の日時、場所及び合格発表

区 分	日 時	場 所	合 格 発 表
第1次試験	令和7年6月15日(日) 〔午前9時15分から 午後5時30分頃まで〕 ただし「総合土木Ⅱ」は 午後1時30分から午後5 時30分頃まで	金沢大学人間社会第2講義棟 (金沢市角間町) 東京文具共和会館 (東京都台東区柳橋1-2-10) リファレンス大阪駅前第4ビル (大阪府大阪市北区梅田 1-11-4)	令和7年7月上旬に石川県人事委員会事務局前などに掲示するほか、合格者に通知する。
第2次試験	令和7年7月下旬から8月上旬の予定であるが、詳細は第1次試験合格通知に併せて連絡する。		令和7年8月中旬に石川県人事委員会事務局前などに掲示するほか、合格者に通知する。

## 4 申込方法

申込方法は、原則としてインターネットによる申込み(電子申請)のみである。

(1) 職員採用ポータルサイトの「職員採用試験」ページにある申込みフォームから「石川県電子申請システム」にアクセスし、「新規アカウント登録」において、アカウントを登録した後、受験申込みをすること。

(2) 申込みの受付後に「【石川県電子申請】結果通知メール」という件名のメールが送信される。

(3) (2)のメールに記載された手順に従って、写真票及び受験票をダウンロードの上、印刷すること。

なお、写真票には写真を貼りつけた上で、受験票とともに、第1次試験当日に持参する必要がある。

(4) 「総合土木Ⅱ」の受験者は、(2)のメールに記載された手順に従って令和7年6月2日(月)午後5時までに「専門性確認シート」を指定された宛先へメールで提出すること。期限までに提出がなかった場合、第1次試験を受験できない。なお、提出後は石川県人事委員会事務局から指示がある場合を除いて、差し替えは認めない。

(注1) スマートフォンからの申込みも可能である。

(注2) 使用するパソコン及びスマートフォンや通信回線上の障害などによる万一のトラブルに関しては、一切責任を負わない。

(注3) 受験票を発行した後は試験区分や受験地の変更はできない。受験申込時に間違いがないか十分確かめること。

(注4) 障がいのある者で、車椅子等を使用するなど試験場において特別な配慮を必要とする場合は、受験申込時にその旨を石川県人事委員会事務局に連絡すること。

(注5) 「総合土木Ⅱ」の受験者が提出する「専門性確認シート」の様式は、職員採用ポータルサイトに掲載してあるので、ダウンロードして作成すること。

(注6) インターネットによる申込みができない特段の事情のある者は、必ず令和7年5月16日(金)までに石川県人事委員会事務局に連絡すること。

5 申込受付期間

令和7年5月8日(木)から同月28日(水)正午まで

(注) 申込受付期間中に受信したものを有効とする。

6 試験の方法

<試験区分「総合土木Ⅱ」以外>

区分	試験種目	配点		内 容	
		行政・警察行政	行政・警察行政以外		
第1次試験	教養試験 (150分)	100点	100点	社会、国語、英語、理科、判断推理、数的処理、資料解釈等にわたり、公務員として必要な一般的知識及び能力について択一式による筆記試験を行う。 (50題)	
	専門試験 (120分)	120点	160点	試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行う。試験区分ごとの専門試験問題の出題分野及び出題数は別表のとおりである。ただし、「行政」・「警察行政」及び「総合化学」は50題出題のうち40題選択解答、「農学(農業・畜産)」は60題出題のうち40題選択解答により試験を行う。	
	論文試験 (70分)	80点	60点	課題に対する理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行う。 (800字程度) (注) 教養試験及び専門試験の結果が一定の基準に達しない場合は採点されない。 この場合、教養試験及び専門試験の結果をもって第1次試験の得点とする。	
	適性検査	—	—	職務の遂行に必要な素質及び適性について検査を行う。	
第2次試験	第1次試験合格者に対して、次により行う。				
	口述試験	個別面接	800点	800点	主として人物について、個別面接により試験を行う。なお、試験区分「行政」及び「警察行政」は集団討論面接も行う。
		集団討論	400点	—	
受験資格等の調査		—	—	受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査する。	

## &lt;試験区分「総合土木Ⅱ」&gt;

区 分	試 験 種 目	配 点	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (S P I 3) (70分)	100点	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力等について択一式による試験を行う。
	論文試験 (70分)	60点	課題に対する理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行う。 (800字程度) (注) 基礎能力試験の結果が一定の基準に達しない場合は採点されない。 この場合、基礎能力試験の結果をもって第1次試験の得点とする。
	適性検査	—	職務の遂行に必要な素質及び適性について検査を行う。
第2次試験	第1次試験合格者に対して、次により行う。		
	口述試験Ⅰ (専門性確認)	160点	必要な専門的知識及び能力について個別面接により試験を行う。 (「専門性確認シート」の内容に基づき、これまでに学んできたことや取り組んできたこと、それを今後どのように石川県の行政に活かしていきたいのかについて、プレゼンテーションを行わせ、その後、「専門性確認シート」の内容に関して質疑応答を実施する。)
	口述試験Ⅱ (人物評価)	800点	主として人物について、個別面接により試験を行う。
受験資格等の調査	—	受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査する。	

(注1) 一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となる。

(注2) 最終合格者は、第1次試験及び第2次試験の成績を総合して決定する。

## 7 合格から採用まで

- 合格者は職員採用候補者名簿(大学卒程度)に登載され、知事、教育委員会、警察本部長等各任命権者からの請求に基づき、人事委員会が成績順に推薦し、そのうちから任命権者が採用者を内定する。
- 採用が内定した者は、原則として令和8年4月以降に採用され、知事部局、教育委員会事務局、警察本部等の各課及び出先機関に勤務することになる。ただし、既卒者については、欠員状況等により、本人の意向を確認の上、令和7年度中に採用される場合もある。
- 総合土木Ⅰ・Ⅱについては、次年度も在学予定の者が最終合格した場合は、令和8年6月以降に任命権者が実施する面談により内定を決定し、採用は、原則として令和9年4月以降となる。
- 採用候補者名簿の有効期間は、原則として1年間(総合土木Ⅰ・Ⅱは4年間)であるが、心理、精神保健福祉士、福祉又は保健師については、現に免許・資格を有する者を除いて、受験資格に掲げる免許・資格を取得できなかった者は、採用候補者名簿から削除され、採用資格を失う。

## 8 試験結果の情報提供

この試験の結果については、次のとおり口頭で情報提供を求めることができる。

試 験	情報提供を求めることができる者	情報提供内容	情報提供期間	情報提供場所
第1次試験	第1次試験不合格者	当該試験の種目別得点、その合計点及び総合順位	当該試験の合格発表の日から起算して1か月間 (県の休日(注1)を除く日の 午前9時から午後5時まで)	石川県人事委員会事務局 (金沢市鞍月1丁目1番地)
第2次試験	第2次試験不合格者			

(注1) 石川県の休日を定める条例(平成元年石川県条例第16号)第1条第1項に規定する県の休日をいう。

(注2) 必要持参書類…受験票又は自動車運転免許証、マイナンバーカードなど官公署の発行する顔写真付きの証明書

(注3) 電話、はがき等により情報提供を求めること及び本人以外の者が情報提供を求めることはできない。

## 9 給与等の待遇

(1) 初任給

区 分	初任給 (給料月額+地域手当)	主として関係する職種 (試験区分)
行政職給料表適用者	約227,100円	行政、警察行政及び下記を除く技術系職種
研究職給料表適用者	約241,500円	各種試験場等で試験研究業務に従事する技術系職種
医療職給料表(三)適用者	約257,500円～約263,600円	病院、保健所等で専門業務に従事する保健師

(注) この額は、令和7年4月採用者のもので、金沢市内で勤務した場合の地域手当を加算した額になっている。今後、人事委員会勧告に基づき改定されることがある。

また、学校卒業後、職務経験等一定の経歴がある場合は、所定の金額が加算される。

(2) 諸手当

期末手当・勤勉手当、扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当等が、それぞれの条件に応じて支給される。

(3) 勤務時間

原則として、午前8時30分から午後5時15分までの7時間45分である。職員の通勤事情や生活事情等に応じて業務の開始時間を午前7時から午前10時30分までの間で30分毎に設定することができる。

(4) 休日

原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)による休日及び年末年始が休みとなる。

(5) 休暇

年次有給休暇(年間20日、採用1年目は15日)のほか、夏期休暇等の特別休暇がある。

(6) 研修

初任者研修等の基本研修のほか、海外派遣研修など各種研修制度がある。

(7) 福利厚生

健康の維持・増進のための各種健康診断、レクリエーション事業、各種の給付・貸付事業等を行う共済制度及び互助会制度がある。

10 例題の公表

この試験における例題については、職員採用ポータルサイトにおいて閲覧できる。

ただし、例題に関する質問等は、一切できない。

11 その他

この試験の詳細については、石川県人事委員会事務局に問い合わせることができる。

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地(行政庁舎18階)

石川県人事委員会事務局

TEL 076-225-1871

別表

試験区分	出題分野	出題数
行政 警察行政	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等	50題 (うち40題 選択解答)
心理 精神保健福祉士 福祉	一般心理学、心理学史、発達心理学、社会心理学、教育心理学、産業心理学、臨床心理学、調査・研究法、統計学等 社会福祉概論、社会保障、社会学概論、心理学概論、社会心理学、社会調査等	40題
農学 (農業・畜産)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等	60題 (うち40題 選択解答)
林学	森林政策・森林経営学、造林学、森林生態学、森林保護学、林業工学、林産一般、砂防工学等	
水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等	

総合土木Ⅰ	数学・物理・情報、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般等	40題
建築	数学・物理・情報、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等	
造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計、都市・地方計画、造園関連基礎等	
機械	数学・物理・情報、材料力学、流体力学、熱工学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等	
電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等	
総合化学	数学・物理・情報、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、物理・化学・生物、衛生等	50題 (うち40題 選択解答)
保健師	公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論等	40題

### 令和7年度石川県警察官A採用候補者試験公告

令和7年度石川県警察官A採用候補者試験を次のとおり行う。

なお、大学卒業及び令和8年3月までに大学卒業見込み(※)の者(石川県人事委員会が同等の資格があると認める者を含む。)は警察官B試験を受験できないので、警察官A試験を受験すること。

※「卒業見込み」とは、現在履修中又は今後履修可能な科目の単位を全て取得したと仮定した場合に令和8年3月までに卒業が可能であることをいい、学校による卒業見込みの認定とは関係ないものとする。

令和7年5月8日

石川県人事委員会  
石川県警察本部

#### 1 試験区分、採用予定人員

試験区分	男性A	武道指導A	女性A	サイバー・デジタルA
採用予定人員	28名程度	若干名	6名程度	若干名

#### 2 職務内容

個人の生命・身体及び財産の保護、犯罪の予防・鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締り、その他公共の安全と秩序の維持のための任務に従事する。

#### 3 受験資格

##### (1) 年齢等

試験区分	受験資格	
男性 A	平成2年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた男性	学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する大学の学部を卒業した者又は令和8年3月までに卒業する見込みの者(これらの者と同等の資格があると石川県人事委員会が認める者を含む。)
武道指導 A	平成2年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた女性	
女性 A	平成2年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた女性	
サイバー・デジタル A	平成2年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者	

ただし、「武道指導A」については、上記の受験資格のほかに次のいずれかの要件が必要となる。

武道指導 A	ア 柔道は、段位が3段以上の者 イ 剣道は、段位が4段以上の者(大学卒業見込みの者に限り3段を含む。)
--------	--

(2) 次のいずれかに該当する者は受験できない。

ア 日本の国籍を有しない者

- イ 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条に規定する次の欠格条項に該当する者
- (ア) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
  - (イ) 石川県職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
  - (ウ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 試験の日時、場所及び合格発表

区 分	日 時	場 所	合 格 発 表
第1次試験	令和7年7月13日(日) 【男性A、武道指導A及び女性A】 〔午前9時15分から 午後4時30分頃まで〕 【サイバー・デジタルA】 〔午前10時30分から 午後4時30分頃まで〕	石川県立金沢伏見高等学校 (金沢市米泉町5-85) LMJ東京研修センター (東京都文京区本郷1-11-14 4階) 天満研修センター (大阪府大阪市北区錦町2-21)	令和7年8月上旬に石川県人事委員会事務局前などに掲示するほか、合格者に通知する。
第2次試験	令和7年9月上旬の予定であるが、詳細は第1次試験合格通知に併せて連絡する。		令和7年9月中旬に石川県人事委員会事務局前などに掲示するほか、合格者に通知する。

5 申込方法

申込方法は、原則としてインターネットによる申込み(電子申請)のみである。

- (1) 職員採用ポータルサイトの「職員採用試験」ページにある申込みフォームから「石川県電子申請システム」にアクセスし、「新規アカウント登録」において、アカウントを登録した後、受験申込みをすること。
- (2) 申込みの受付後に「【石川県電子申請】結果通知メール」という件名のメールが送信される。
- (3) (2)のメールに記載された手順に従って、写真票及び受験票をダウンロードの上、印刷すること。

なお、写真票には写真を貼りつけた上で、受験票とともに、第1次試験当日に持参する必要がある。

(注1) スマートフォンからの申込みも可能である。

(注2) 使用するパソコン及びスマートフォンや通信回線の障害などによる万一のトラブルに関しては、一切責任を負わない。

(注3) 受験票を発行した後は試験区分や受験地の変更はできない。受験申込時に間違いがないか十分確かめること。

(注4) インターネットによる申込みができない特段の事情のある者は、必ず令和7年5月23日(金)までに石川県人事委員会事務局に連絡すること。

6 申込受付期間

令和7年5月14日(水)から同年6月9日(月)正午まで

(注) 申込受付期間中に受信したものを有効とする。

7 試験の方法

区分	試 験 種 目	配 点	内 容
	教 養 試 験 (150分) 〔サイバー・デジタルAを除く。〕	100点	社会、国語、英語、理科、判断推理、数的処理、資料解釈等について択一式による筆記試験を行う。  (50題)
	基 礎 能 力 試 験 (S P I 3) (70分) 〔サイバー・デジタルAのみ〕	100点	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力等について択一式による筆記試験を行う。

第 1 次 試 験	論 文 試 験 (70分)	100点	課題に対する理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行う。 (800字程度)  (注) 教養試験又は基礎能力試験(SPI3)の結果が一定の基準に達しない場合は採点されない。 この場合、教養試験又は基礎能力試験(SPI3)の結果をもって第1次試験の得点とする。
	適 性 検 査 I · II	—	職務の遂行に必要な素質及び適性について検査を行う。
	資 格 等 加 点 (武道指導Aを除く。)	上限 20点	別表1に掲げる資格について申請のあった場合に、段位・成績等に応じて一定点を加点する。
第 2 次 試 験	第1次試験合格者に対して、次により行う。		
	体 力 試 験	80点 (武道指導A :100点)	腕立て伏せ、上体起こし、反復横とび、バーピーテストについて行う。 目安回数は別表2のとおりである。
	口 述 試 験	1200点 (武道指導A :800点 サイバー・デジタルA :900点)	主として人物について、個別面接により試験を行う。
	身 体 検 査	—	職務遂行上必要な身体基準を有するかどうかについて、医療機関の健康診断書の提出を求め、次の基準により検査を行う。 <b>【身体基準】</b> (1) 視力…両眼とも、裸眼視力0.6以上であること又は矯正視力1.0以上であること。 (2) 色覚…職務の遂行に支障がないこと。 (3) 身体の状態…職務の遂行に支障がなく強健であること。
	実 技 試 験 (武道指導Aのみ)	400点	武道指導Aについては、柔道又は剣道の実技試験を行う。
	専 門 試 験 (サイバー・ デジタルAのみ) (60分)	300点	サイバー・デジタルAについては、情報通信技術に関する基礎理論、コンピュータ・システム構成要素、ネットワーク、セキュリティ等の専門的知識について独立行政法人情報処理推進機構が実施する基本情報技術者試験程度の択一式による筆記試験を行う。 (40題)
受 験 資 格 等 の 調 査	—	受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査する。	

(注1) 武道指導Aの場合、資格等の加点はないが、要件となる段位を証明する書類を、別表1の申請方法により提出すること。

(注2) 一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となる。

(注3) 最終合格者は、第1次試験及び第2次試験の成績を総合して決定する。

#### 8 合格から採用まで

- (1) 合格者は、警察官採用候補者名簿に登録され、警察本部長の請求に基づき、人事委員会が成績順に推薦し、そのうちから警察本部長が採用者を内定する。
- (2) 採用が内定した者は、原則として令和8年4月1日に巡査に任命され、初任科生として警察学校に入校して初任教養を受けることになる。
- (3) 採用候補者名簿の有効期間は、原則として1年間である。

#### 9 試験結果の情報提供

この試験の結果については、次のとおり口頭で情報提供を求めることができる。

試 験	情報提供を求める ことができる者	情報提供内容	情報提供期間	情報提供場所
第1次試験	第1次試験不合格者	当該試験の種 目別得点、そ の合計点及び 総合順位	当該試験の合格発表の日 から起算して1か月間 (県の休日(注1)を除く日の 午前9時から午後5時まで)	石川県人事委員会事務局 (金沢市鞍月1丁目1番地)
第2次試験	第2次試験不合格者			

(注1) 石川県の休日を定める条例(平成元年石川県条例第16号)第1条第1項に規定する県の休日をいう。

(注2) 必要持参書類…受験票又は自動車運転免許証、マイナンバーカードなど官公署の発行する顔写真付きの証明書

(注3) 電話、はがき等により情報提供を求めること及び本人以外の者が情報提供を求めることはできない。

10 給与等の待遇

(1) 初任給

月額 約259,900円(給料月額+地域手当)

(注) この額は、令和7年4月採用者のもので、金沢市内で勤務した場合の地域手当を加算した額になっている。今後、人事委員会勧告に基づき改定されることがある。

また、学校卒業後、職務経験等一定の経歴がある場合は、所定の金額が加算される。

(2) 諸手当

期末手当・勤勉手当、扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当等が、それぞれの条件に応じて支給される。

(3) その他

勤務に必要な被服は、制服のほかに帽子、靴、靴下、ワイシャツ、ネクタイ、防寒服等が支給される。また、公務上災害を受けた場合、補償制度がある。

11 昇進制度

警察官の昇進は、昇任試験によって行われ、本人の努力次第で将来幹部への道が開かれている。

なお、大学卒業者については、昇任試験の受験資格期間の短縮措置などがある。

12 例題の公表

この試験における例題については、職員採用ポータルサイトにおいて閲覧できる。

ただし、例題に関する質問等は、一切できない。

13 その他

この試験の詳細については、石川県人事委員会事務局、石川県警察本部警務課又は県下各警察署に問い合わせることができる。

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地(行政庁舎18階)

石川県人事委員会事務局

TEL 076-225-1871

〒920-8553 金沢市鞍月1丁目1番地(警察本部庁舎4階)

石川県警察本部警務部警務課

TEL 076-225-0110 内線 2625

別表1 加点对象資格及び申請方法

英 語	柔 道	初段以上		
	剣 道	初段以上		
	英 語	①実用英語技能検定	2級以上	
		②TOEIC Listening & Reading Test (旧称TOEICテスト)	470点以上	
		③TOEFL (PBT)	460点以上	
		④TOEFL (CBT)	140点以上	
		⑤TOEFL (iBT)	48点以上	
⑥国際連合公用語英語検定(国連英検)	C級以上			

加 点 対 象 資 格	中 国 語	①中国語検定	3級以上
		②漢語水平考試	4級以上
		③中国語コミュニケーション能力検定 (TECC)	400点以上
	韓 国 語	①韓国語能力試験	4級以上
		②ハングル能力検定	準2級以上
	ポルトガル語	①外国人のためのポルトガル語検定	中級以上
		②外国語としてのポルトガル語検定 (旧国際ポルトガル語検定)	初級以上
	ス ペ イ ン 語	①スペイン語技能検定	4級以上
		②DELE	B1以上
	ベトナム語	実用ベトナム語技能検定	4級以上
日 商 簿 記	3級以上		
情 報 処 理	情報処理技術者試験又は情報処理安全確保支援士試験 (経済産業省認定の国家試験) 合格者		
必 要 書 類	上記資格を証明する書類 (段位を証明できる書類、合格証明書又はスコアレポート等)		
申 請 方 法	<p>申請者は、受験申込時までに上記資格を取得済みで、かつ、証明書類によりその資格を証明できる者に限る。各資格は、その段位や成績等に応じて加点する。同一言語において複数の資格を取得している場合は、その全ての資格について入力すること。1つの言語につき、最も加点が大きい1つの資格のみ加点対象とする。</p> <p>1 受験申込時          加点申請する資格については、「免許、資格等」欄に必ず入力すること。</p> <p>2 第1次試験日当日          申込時に申請した資格について、証明書類の原本及び写し (A4サイズにし、右上に受験番号を記入したもの (TOEICのデジタル公式認定証の場合は、デジタル公式認定証を印字したもの)) を当日、提出すること。原本は確認後に返却する。</p> <p>なお、結婚等により、証明書類に記載されている氏名と申込書記載の氏名が異なる場合には、上記書類のほか、当該書類が申込者のものであることを証明する書類を同時に提出すること。</p>		

別表2 体力試験の目安回数

種 目	男 性	女 性
腕立て伏せ (2秒に1回のペース)	18回	9回
上体起こし (30秒間)	18回	12回
反復横とび (20秒間)	41回	36回
バーピーテスト (4秒に1回のペース)	20回	13回

(注1) 各種目20点 (武道指導Aは25点) 満点とし、それぞれの結果に応じて得点化するが、4種目の合計点数が40点未満 (武道指導Aは50点未満) の場合は、他の成績にかかわらず不合格となる。

(注2) 目安回数とは、各種目について20点満点中10点 (武道指導Aは25点満点中12.5点) となる回数である。

(注3) 当日、けが等により実施しない種目があった場合は、その種目の回数は0回 (0点) とする。